

### 予防接種とは？

はしかや百日せきのような感染症の原因となるウイルスや細菌または、菌が作り出す毒素の力を弱めて作った予防接種液（ワクチン）を体に接種して、その病気に対する抵抗力（免疫）を作り、病気にかかるのを防ごうとするものです。

### 定期接種とは？

予防接種法で、定期（公費）の時期は限られています。それは、病気にかかりやすい時期を考慮し、一番接種するのに、適切だと国が判断して定めているからです。



# 予防接種は誰のもの？

それは、赤ちゃんや、子どもでしょう…？それでは、インフルエンザは、大人も受けますね…いえいえ、予防接種は住民の人、ひとりひとりが考え、予防のために使用するものなんです。

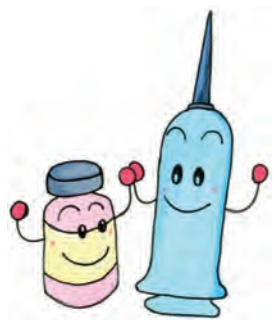
今月号はそんな予防接種の大切さについて、みなさんにお伝えしたいと思います。

問い合わせ 保健センター 258012036

1960年頃までは、日本にもポリオの流行や、他の感染症が蔓延した時代がありました。その後、皆さんがいたい思いをしても、予防接種を受けてきたからこそ、個人の病気を予防するだけではなく、国全体の免疫水準が高まり、現在、病気が流行るのを防止することが出来ているわけです。「病気が流行っているわけではないから、接種しなくていいかな」「免疫は実際に罹ったほうが、高くなるから、打たないほうがいいよね」等、耳にすることがあります。実際に罹った時に出る可能性のある・後遺症と、予防接種を打つことにより出る可能性のある・副反応、その確率にはかなりの差があります。受けるかどうかまよった時には、かかりつけ医に相談のうえ、納得してお受けください。

### 予防接種の対象年齢の考え方

年齢の考え方は、誕生日の前日に1歳加えます。（民法）そのために、2歳未満の場合は、2歳の誕生日の前々日までが対象となります。前日は定期外（自費）接種となります。



※日本脳炎の新ワクチンは、今年の夏には間に合う予定と国より説明がありました。

### 定期外の予防接種

必要な時には、定期外（自費）でも接種した方が良いときがあります。母子健康手帳をお持ちの方は、ご自身の予防接種の記録を確認してみてください。  
\*今年度19歳以上の方で、麻しんに罹ったことがなく、予防接種を受けていない方は、入学や就職の際に、麻しんの既往について確認を受ける可能性があります。  
\*結婚を予定されている方は、麻しんや風しんは接種されていますか？ポリオを接種されていない方は、将来ご自分の赤ちゃんが接種を受ける前に、接種しておかれると安心です。

### 定期の予防接種

- BCG（結核） 6か月未満1回接種
- 三種混合 3か月〜7歳6か月未満 1期初回（3回）追加（1回）
- 麻しん風しん混合 1期 12か月〜24か月 2期 5歳〜7歳未満で小学校就学前の1年間各1回皮下接種
- 日本脳炎 3歳〜7歳6か月未満 1期初回（2回）追加（1回）
- 二種混合 11歳以上13歳未満1回皮下接種
- 日本脳炎 9歳以上13歳未満1回皮下接種
- 麻しん風しん混合 3期（中学1年生相当）4期（高校3年生相当）
- インフルエンザ 65歳以上（毎年度1回）

## 協働のまちづくり

# まちづくりネットが発足！

●●●まちづくりシンポジウムのご案内～魅力ある地域づくりにあなたの力を～●●●

協働のまちづくり条例（昨年6月施行）の理念の実現に向けて、まちづくりへの住民参加を促進し、行政との協働によってまちづくりに貢献する住民組織「協働のまちづくりネットワーク」（まちづくりネット）が、昨年9月28日（日）に設立されました。

足かけ3年の研究・準備期間を経て、「このまちをより良くするために何かできないか」という思いをもった100名ほどの公募住民がつどい、実現したものです。まちづくりネットは、5グループで構成され、協働アクションプランに掲載された事業を行政各課や既存の住民活動と連携しながら進めていく予定です。

各分野の重点テーマや計画中の協働プラン、活動の様子などを紹介します。

問い合わせ 総合政策室（内線424）



〈まちづくりネット設立のつどい〉

まちづくりネット  
運営委員会

### 【健康福祉グループ】 「高齢者の居場所づくり」

「ふれあいサロン藤久保5区」がスタート！-居場所づくりの皮切りとして藤久保5区集会所で4月からスタートできるよう検討しています。60歳以上の方なら「誰でも・気軽に・楽しく・無理なく」参加できるサロンで、参加者とボランティアが立場を超えて共同運営をしようと考えています。町内各地区にサロンが誕生するよう関係各所と調整・連携を図っていきます。（柄澤）

### 【産業観光グループ】 「三芳の顔づくり」

三芳町は、農業が盛んに行われています。私たちは、三芳の顔づくりの一環として、新鮮で顔の見える野菜を提供するモデル事業「農産物の特別規格品の販売」を行います。農家と消費者の仲介役として、町内産の農産物を町民にPRします。農家と消費者の交流を促して、信頼関係の構築に貢献します。（井田）

### 【みどり環境グループ】 「自然を活かした公園づくり」「雑木林の活用と環境教育」「ゴミの減量」

私たちは当面の活動を、役に立つ公園づくり、林の活用と保全、ゴミ減量と買い物袋持参の促進に決めました。現在、公園・雑木林の実態調査や落ち葉掃きへの参加を通して、課題整理を始めるとともに、買い物袋持参の促進について、担当課と調整を行っています。また、県の提唱する「エコライフデイ」にも参加し普及を図る予定です。（海老根）

### 【都市安全グループ】 「安全・安心なまちづくり」

私たちは協働事業のテーマに「安全安心マップの作成と活用」を掲げ、小学校区の通学路を中心に現地調査を行い、危険な場所や施設の不備、環境の善し悪しなどを調べています。今後、地域と連携しながら順次、各校区を回って調査しマップを作成、マップの活用方法も含めて、平成21年度末の完成をめざします。（渋谷）

まちづくりネットは、地域の皆さんで育てるまちづくり組織です。随時会員を募集していますが、このたび、協働のまちづくりについて学びあい、各グループの様子などを紹介する学習会を右のとおり開催します。この機会に、まちづくり活動へ一歩踏み出してみませんか？（山本運営委員長）



〈安全マップづくり現地調査〉

## 協働のまちづくりシンポジウム 「みんなで魅力あるまちをデザイン」

3月8日（日） 午後1時30分～5時  
藤久保公民館

「福祉やみどりの保全、防犯活動や地域ブランドづくりに関わってみたい」「これまでの経験や知識をまちづくりに活かしてみたい」「地元企業として地域に貢献したい」・・・そんなあなたの思いを応援します。きっと何かが見つかるはずですよ。

- 1部【講演】 講師/庄嶋孝広氏（市民社会パートナーズ代表、大学講師）
  - 2部【パネルトーク】 「何気ない一歩がまちを変える！」（まちづくりネット分野グループ代表ほか）※保育あり（申し込み制）、手話通訳・要約筆記あり
- 【シンポジウム参加申し込み・まちづくりネット加入申し込み】

下記のいずれかの方法で総合政策室へ。

- ①電話 258-0019（内線424）
- ②FAX 274-1055
- ③町ホームページ専用フォーム

<http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp>